

## 第5回 通常総代会開催報告



第5回通常総代会が6月24日(土)に社会福祉法人麦の芽福祉会ありのまま(鹿児島市川上町 680-3)で開催されました。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染症が拡大している状況を踏まえ、総代および関係者各位の安全確保及び感染防止などの重要性に鑑み、必須決議事項のみにて時間短縮・規模縮小して開催しました。

以下報告になります。

### 議案

第1号議案 2022年度事業報告、決算及び剰余金処分案、監査報告の件

第2号議案 2023年度事業計画案、予算案決定の件

第3号議案 定款改正についての件

第4号議案 監事監査規則の改正についての件

第5号議案 役員改選についての件

第6号議案 消費者団体連絡会加盟についての件

以上のすべての議案は賛成多数にて提案どおり可決、承認されました。

総代数 117名 出席 81名(書面決議 69名)

今年もリモートによる参加者もありました。



### 2022年度事業報告

#### 1.福祉・医療事業

福祉部門では玉竜共同大学コミュニティセンター・玉竜協同大学・訪問介護ステーションの報告があり生活介護 21名・就労継続支援事業B型(玉竜協同大学)に 21名が登録されています。訪問介護ステーションのヘルパーも 48名となり居宅、介護、移動支援に派遣しています。また総合的複合的活動により開所日数の安定化を図り願いに制度を合わせています。その他に願いから始まる文化活動やなかまに学び、共に悩み、共に育ちあう共育実践の取り組みを行っているとの報告がありました。

医療部門では、診療所での健診やコロナ、インフルエンザワクチンの接種状況や訪問診療等の活動状況と利用状況の報告があり、かかりつけ医として組合員が住み慣れた地域で最後まで安心して暮らしていくために病気の予防、早期発見、治療、リハビリを行っている報告がありました。

#### 2.生活の改善及び文化の向上を図る事業

「みんなみんなフェスタ in 下田」と題し9月に下田地区でバザーや催し物を行いました。また毎月第4土曜日にせきよしの物産館で土よう市を開催し地域の方々との交流や連携が生まれているとの報告がありました。

#### 3.組合員の加入促進と組合事業に関する知識の向上を図る事業

機関紙にじのたま No8号の発行やホームページの作成を行いました。

### 2022年度組織状況について

組合員数	2,296人(入会者 41名・退会者 32名)	
出資金	92,583千円	
増資	822件	24,015千円
減資	3件	586千円

2022 年度決算報告

貸借対照表  
令和5年3月31日現在

福祉生活協同組合むぎのめ		(単位:円)	
資産の部		負債の部	
【流動資産】	28,310,197	【流動負債】	34,572,819
現金預金	7,054,577	買掛金	126,064
事業未収金	20,274,502	未払金	19,972,920
貯蔵品	141,159	未払費用	
未収金	667,266	預り金	369,816
前払費用	153,740	仮受金	2,700
仮払金		未払法人税等	182,500
		未払消費税等	1,405,100
材料	18,953	賞与引当金	2,167,799
【固定資産】	37,302,674	一年内返済長期借入金	5,136,000
【有形固定資産】	36,355,558	短期リース債務	5,209,920
建物	25,268,956	【固定負債】	48,144,120
構築物	2,165,452	長期借入金	44,214,000
車両運搬具	331,595	長期未払金	456,840
工具器具備品	293,050	長期リース債務	3,473,280
医療機械	201,045	負債合計	82,716,939
リース資産	7,959,600		
一括償却資産	135,860		
【無形固定資産】	251,346		
ソフトウェア	251,346		
【投資その他資産】	695,770		
リース資産	9,770		
リース資産	9,770		
敷金	526,000		
加入金	160,000		
【繰越資産】	51,788		
創業費	51,788		
資産合計	65,664,659	負債・純資産合計	65,664,659

損益計算書

自 令和 4年 4月 1日  
至 令和 5年 3月 31日

福祉生活協同組合むぎのめ		(単位:円)	
勘定科目	金額		
【利用事業収入】			
基金収入	6,811,271		
国保収入	11,724,767		
利用者負担金収入	3,715,060		
自己負担収入	807,983		
保健予防活動収入 健康診断	2,759,536		
保健予防活動収入 予防接種	3,496,991		
医療雑収入	412,746		
介護保険収入	3,864,771		
玉竜施設収入	65,722,168		
玉竜生活収入	3,796,435		
玉竜カフェ収入	539,130		
玉竜就労収入	4,648,774		
地域生活支援収入	12,915,580		
居宅重度訪問収入	2,542,850	123,758,062	
【利用事業原価】			
期首医薬品棚卸高	179,142		
商品仕入高	2,798,968		
診療材料費	1,743,036		
医療消耗品費	804,061		
検査委託費	891,376		
カフェ材料費	328,282		
その他材料費	384,503		
給食材料費	882,705		
合計	8,012,073		
期末医薬品棚卸高	160,112	7,851,961	
事業総剰余金		115,906,101	
【事業経費】		129,293,657	
事業損失金		△ 13,387,556	
【事業外収益】			
受取利息	83		
雑収入	9,666,885	9,666,968	
【事業外費用】			
支払利息	900,430		
繰延資産償却	395,353	1,295,783	
経常損失金		△ 5,016,371	
税引前当期損失金		△ 5,016,371	
法人税、住民税及び事業税		182,508	
当期損失金		△ 5,198,879	

2023 年度計画について

「困っていること・人・地域を決して見捨てない。あきらめないをめざして」この財政的危機や12 減等の困難をいかに希望や展望にかえていか“願いと学びときょうどう”という生き方をどう深めていくかという経営方針について説明がありました。

福祉事業については、買い物のある暮らし支援ネットワークづくりを拡充するために事業を北薩・南薩地域にも広げていきたい。また南薩地域とのきょうどうによる総合ライフステーションの実践に取り組んでいきます。

医療事業については、診療所・訪問診療・リハビリ・健診事業の利用の拡充と願いと利用の組織運営協議会を再組織し実践を増やし利用の促進に取り組みます。

組合員活動事業については、機関紙の発行やカウンセリング・自己表現講座の開催、またみんなみんなフェスタ、土よう市、各種コミュニケーション活動の拡大に取り組みます。また組織面の整備と管理運営面で支援本部と連携・共同していきます。財政面においても 2023 年度には福祉生協全体のトータル黒字を目指します。との報告がありました。

(2023 年度予算)

I 出資金	5,000,000
II 事業収入(医療)	38,000,000
事業収入(福祉)	101,470,000
III 委託事業収入	5,320,000
収入合計	149,790,000
IV 事業経費	131,718,000
V 経常収益	18,072,000
VI 事業外収益	△ 13,040,000
VII 特別損失	0
XII 当期収支資金差額	5,032,000

### 定款改正について

現在の(自由脱退)「定款第 10 条には組合員は、事業年度の末日の 90 日前までにこの組合に予告し、当該事業年度の終わりにおいて脱会することができる。」となっていますが、住所変更等により所在不明となり、又は長期にわたり組合事業を利用しない等のいわゆる睡眠組合員については、総じて組合事業を長期間利用していないと思われる者が少なくないと推定されるため、除名を行うことになっている。しかしながら、住所変更届を長期にわたり行わない所在不明組合員に対して、除名を行うことが困難な組合員が多い。そこで睡眠組合員についてのみなし退会の取り扱いの規定を盛り込んで定款の変更を行うことになりましたとの報告がありました。

### 監事監査規則の改正について

規約の改定は定款第 56 条(総代会の決議事項)第 1 項(2)及び監事監査規則第 21 条(本規則の改廃)により総代会決議事項となっています。消費生活協同組合法に「第 31 条の 8 役員の責任を追及する訴え」が新設されたことにもない、関係する監事監査規則の該当条文を改定しますとの報告がありました。



### 第 4 期役員改選について

新理事・監事の 19 名が決まりました。

理事 清原 浩	理事 中村 隆司
理事 川瀬 加代子	理事 斎藤 裕
理事 赤崎 昭朗	理事 有村 宣彦
理事 伊牟田 靖宜	理事 中野 喜代子
理事 馬頭 忠治	理事 前田 晶子
理事 所崎 治代	理事 糸原 正好
理事 内園 千恵子	理事 東 麻梨江
理事 愛甲 明実	理事 西園 健三
理事 丸野 里美(新任)	
監事 大西 芳輝(新任)	
監事 中村 淳一(新任)	
監事 立山 泰士(退任)	
監事 平名 章二(退任)	

\*今回退任される監事のお二人の先生方、これまでご指導、ご鞭撻ありがとうございました。

### 消費者団体連絡会加盟について

この会は、消費者の暮らしと健康を守るため、生活の各分野における諸団体が相互に緊密な連絡を取り連帯をつよめて、鹿児島県の消費者運動を発展させることを目的とした組織です。まずは、この消費者団体連絡会に加盟したうえで県生活協同組合連合会への加盟申請を行いたいとの説明がありました。

